

(1) 概要

議 題	令和7年度 第3回 中央高校学校運営協議会
日 時	令和8年2月5日（木）
場 所	大会議室

(2) 次第

**第3回学校運営協議会（司会：教頭）**

- 1 開会の言葉
- 2 学校長挨拶
- 3 協議事項及び報告
  - (1) 学校の現状説明（定時制）
    - ①学校評価アンケートについて
    - ②学校評価報告書について
    - ③未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書（報告）について
    - ④教務係資料より
    - ⑤進路状況について
    - ⑥総合的な探究の時間アンケートについて
    - ⑦保健室利用状況について（1月末現在）
  - (2) 学校の現状説明（通信制）
    - ①通信制概要
    - ②未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書（報告）
    - ③学校評価報告書について
- 5 意見交換
- 6 その他
- 7 閉会の言葉

(3) 内容等

**第3回学校運営協議会【司会：教頭】**

- 1 開会の言葉【教頭】
- 2 学校長挨拶【校長】
 

進路について、受験に取り組んでいる生徒には継続的に指導を続けていく。  
公立高校の希望者が減り、私立高校・定時制通信制高校の希望者が増えている。  
こういった状況を踏まえながら本校の魅力を探していきたい。
- 3 協議事項及び報告【議長：会長】
  - (1) 学校の現状説明（定時制）
    - ①学校評価アンケートについて【教頭】  
学校評価アンケート〈職員用〉〈生徒用〉〈保護者用〉実施についての報告
    - ②学校評価報告書について【教頭】  
学校評価報告書について報告
    - ③未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書（報告）について【教頭】  
未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書について報告

〈①②③について質疑応答・意見交換〉

(委員) 職員用のアンケート報告の中で「教育内容」の項目が低いのはなぜか？  
(教頭) 多様な生徒が増え、これまでと違った対応をしなければならなくなったからではないか。  
(議長) 生徒のアンケートではポイントが上がっているのになぜか。  
(副校長) 基礎学力の低い生徒が多いこともあり、教員の求めるレベルが高くなったため、昨年より低くなったのではないか。  
(委員) 教員の自己評価基準が上がったのではないかと思う。  
(議長) 「教育内容」の項目に対し、なぜそう思わないのか理由が知りたい。  
(校長) そのように回答した理由を調べたほうがいいのか。  
(委員) 通級指導について、新しい取り組みとは具体的に何か？  
(教頭) 今年度から1年次では放課後に「お試し通級」を3回実施し、実際に通級を体験してもらい、自分には何が足りないのか、何を学べるのかを理解してもらってから、2年次で開始するというのを始めた。  
(委員) 通級指導を行っている生徒は何名ほどいるのか？

- (副校長) 15名ほど。  
通級を希望する生徒が増えていることで、教員の負担も増えている。  
教員の負担を解消するためにも1年間で通級が必要か見る必要があると考え、新しい取り組みを始めた。
- (委員) 通級を受けるにあたり、医師の診断や検査などの条件はあるか？
- (副校長) 人数を抑えるためにも診断や検査は必要だと考えている。
- (委員) 学校側から「診断がないと通級は受けられない」と伝えるのは懸念される。
- (議長) 通級を希望する生徒は実際に増えているため、現実的に診断や検査は必要だと思う。
- (副校長) 東京都をモデルに実施しているが、東京都は都から伝えている。
- (議長) 学校からではなく県から伝えてもらいたい。手探り状態なのが大きな課題だと考えている。
- (議長) 生徒の質問項目の、「自分に自信が持てるようになった」は何%以上が良いと言えるのか？  
「自信」という言葉は具体性がなくて難しいと思う。この数値は十分高いのでは？
- (委員) この質問はアンケートのタイミングで大きく変化する。  
どの年代も2年次で一旦下がるのか？この年次だけなのか？  
質問の仕方を変えてもいいと思う。
- (委員) 保護者のアンケートで15番の項目が下がっているのはなぜか？
- (委員) いじめを実際に受けた人は回答しやすいが、そうでない人は回答しにくいのではないかと感じた。このように答えにくい質問や数値の低い項目は質問を工夫したほうがいいのではないかと感じた。
- (議長) 質問項目は使えるものは活かしつつ、変えてもいいと思う。
- ④教務係資料より【教頭】  
令和7年度 第3回学校運営協議会についての説明
- ⑤進路状況について【教頭】  
令和8年1月31日現在の進路状況についての説明・資料訂正(1/31以降進路決定者)  
甲府商科専門合格者5人→7人 専門学校14人→16人(2か所)  
未定・その他13人→11人 決定者数43人→48人
- ⑥総合的な探究の時間アンケートについて【教頭】  
道徳推進講座での生徒の感想紹介
- ⑦保健室利用状況について(1月末現在)【教頭】  
令和7年度保健室の利用状況について説明
- (2)学校の現状説明(通信制)【教頭】
- ①通信制概要【教頭】  
通信制の生徒概況についての説明
- ②未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書(報告)【教頭】  
令和7年度学校評価アンケート(別紙)についての報告
- ③学校評価報告書について【教頭】  
学校評価について報告
- 〈①②③について質疑応答・意見交換〉
- (議長) 生徒が増えていることでの教員の負担はどうか？
- (教頭) 勤務歴の長い教員が多く、教員数が少ない時の対応方法がわかっている教員が多い。
- (委員) 保護者や生徒は偏見を持たず、関わってほしいと思っているはず。  
生徒アンケートの備考欄を見ると、傷つくワードを気づかずに使ってしまったのではないかと感じた。改善されたいと思う。
- (委員) 何かの課題を抱えて入学してくる生徒がほとんど。意識を転換していく必要がある。
- 5 意見交換【議長】
- (委員) 今後も子供たちが自己肯定感を高め、進路実現できる学校になれるよう考えていきたい。
- (委員) 変化を見るには数値がわかりやすい。今後も数値を見ていくことは大切だと感じた。  
中央ハーモニックプランをどう発信していくか工夫していく必要がある。
- 6 その他【教頭】
- (校長) 今後も意見をいただきながら学校運営に役立てていきたい。
- 7 閉会の言葉【教頭】

(4) 備考

なし。

コメント

特になし